

進学、留学及び JASSO に関する広聴調査について〔平成 26 年度〕

I. 調査内容

1. 目的

今後の広報活動に活かすため、大学生と、大学生の子どもをもつ親に対して、次の観点から調査を実施。

- ・高等教育への進学、留学に関する高校生と高校生の親への広報の検討
- ・日本学生機構（JASSO）の事業を理解してもらうための訴求力のある情報発信の検討

2. 調査対象

全国の大学生と、大学生の親（親子関係ではない）の合計 800 名。進学時の状況を調査するため、大学生の学年は 1、2 年とした。

3. 調査方法

インターネットモニター調査（※）により、大学 1、2 年生 400 名、大学 1、2 年生の子どもをもつ親 400 名を確保する方法で実施。

※インターネットモニター調査とは、調査会社にモニター登録している人に対して調査回答依頼を行い、ウェブ上の調査画面から回答してもらう調査・アンケート回収方法。

4. 調査時期

2014 年 11 月 6 日（木）～11 月 8 日（土）

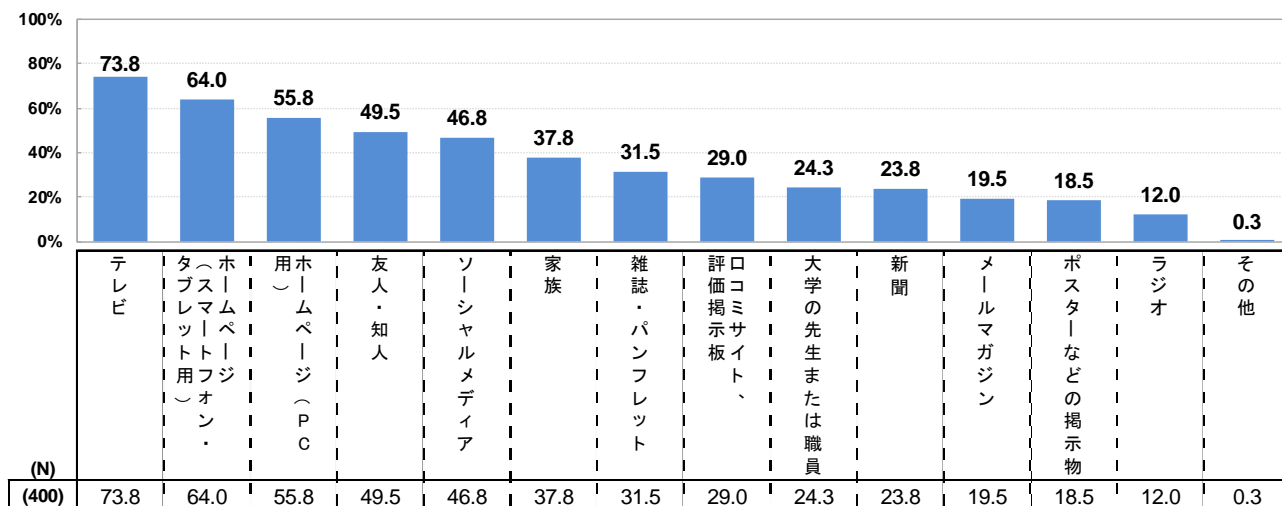
II. 調査結果の概要

1. 情報収集の際に参考とする情報源

(1) 大学生

「テレビ」(73.8%)、「ホームページ（スマホ・タブレット）」(64.0%)、「ホームページ（PC）」(55.8%)

Q.あなたが情報を収集する際、参考にする情報源は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

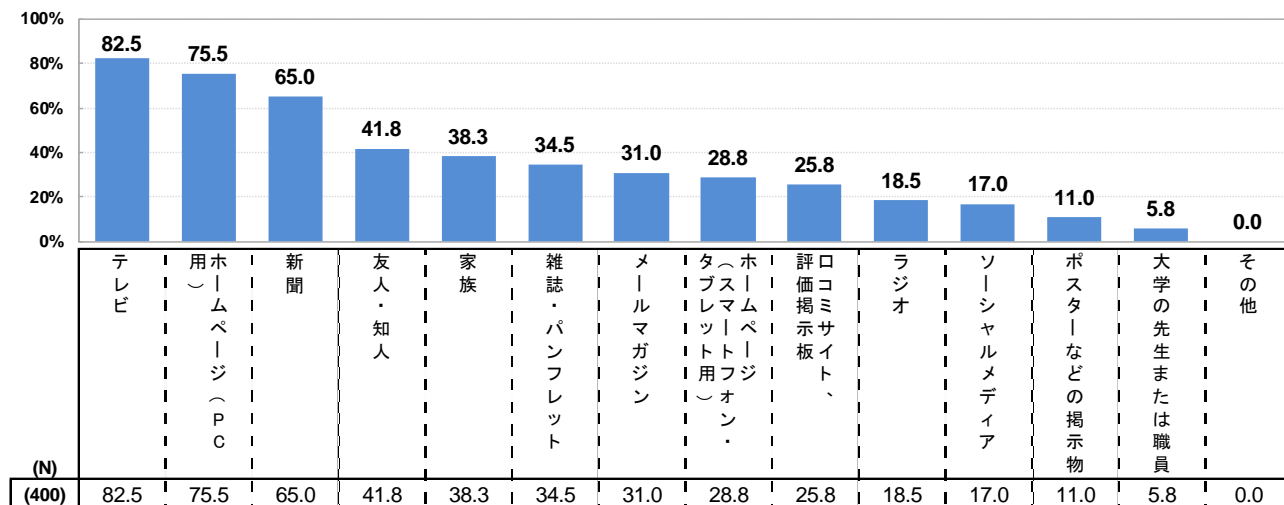


N=大学生全員、400名

(2) 親

「テレビ」(82.5%)、「ホームページ(PC)」(75.5%)、「新聞」(65.0%)

Q.あなたが情報を収集する際、参考にする情報源は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)



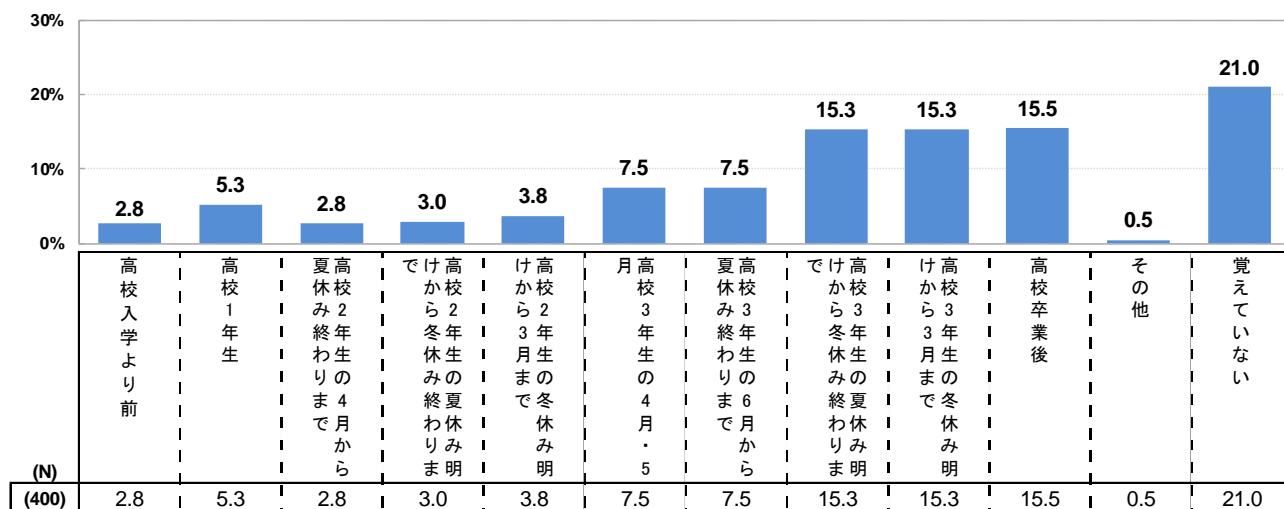
N=親全員、400名

2. 大学進学について

(1) 大学生

- ・ 進学情報の入手経路・・・「高校の先生または職員」(57.8%)、「ウェブサイト」(53.0%)
- ・ 進学先学校の決定時期・・・高校3年生の「3月」(31.3%)
- ・ 入学金、授業料を把握する時期・・・「高校卒業後」(15.5%)
「高校3年生の夏休み明けから冬休み終わりまで」(15.3%)、
「高校3年生の冬休み明けから3月まで」(15.3%)
- ・ 親子で進学資金についての話し合い・・・「あり」(76.0%)
- ・ 話し合いの時期・・・「高校3年生の夏休み明けから冬休み終わりまで」(10.3%)

Q.あなたは進学した場合の、大学入学金と授業料のおおよその金額を、いつの段階で把握されましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

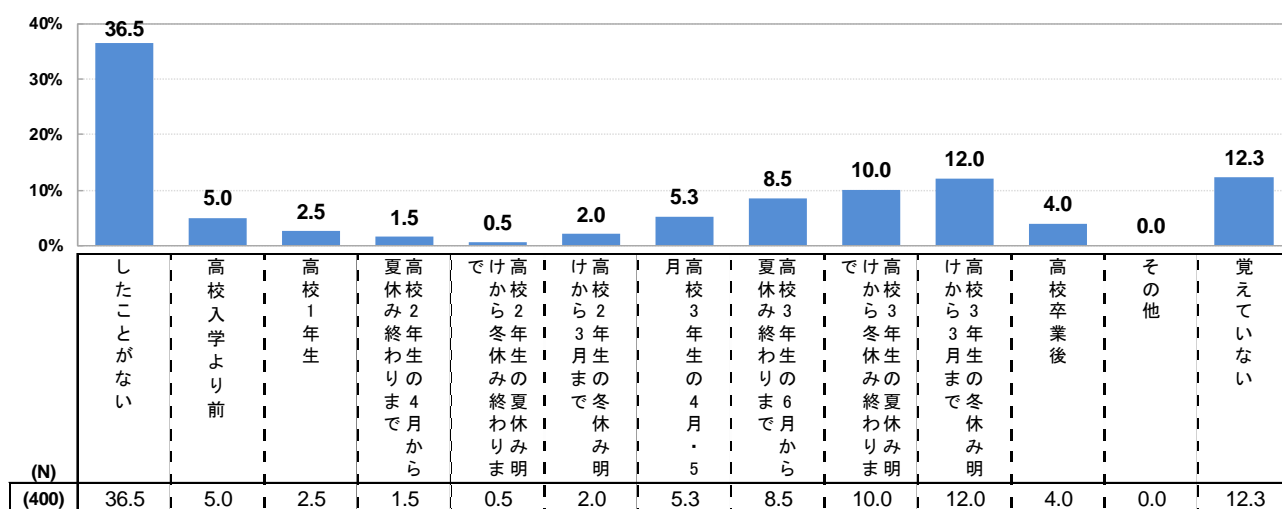


N=大学生全員、400名

(2) 親

- ・ 子どもの進学情報の入手経路・・・「高校の先生または職員」(56.5%)、「ウェブサイト」(44.5%)
- ・ 子どもの進学先学校の決定時期・・・高校3年生の「2月」(18.0%)、「3月」(16.3%)
- ・ 入学金、授業料を把握する時期・・・「高校3年生の冬休み明けから3月まで」(25.8%)、
「高校3年生の夏休み明けから冬休み終わりまで」(19.8%)
- ・ 親子で進学資金についての話し合い・・・「あり」(63.5%)
- ・ 話し合いの時期・・・「高校3年生の冬休み明けから3月まで」(12.0%)、
「高校3年生の夏休み明けから冬休み終わりまで」(10.0%)
- ・ 子どもの授業料資金・・・「預貯金」(80.8%)、「奨学金」(23.8%)

Q.親子で、「大学進学」のための資金について、話し合いをしたことはありましたか。話し合いをした場合には、その時期について該当するものを全て選んでください。



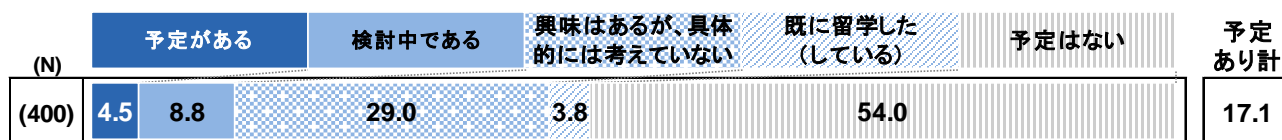
N=親全員、400名

3. 海外留学について

(1) 大学生

- ・ 海外留学の予定・・・「予定はない」(54.0%)、「興味はあるが、具体的には考えていない」(29.0%)
「予定あり」(17.1%)
- ・ 海外留学について知りたい情報・・・「留学にかかる費用」(88.0%)、
「留学先の生活に関する情報」(74.5%)、
「留学先の宿など滞在に関する情報」(65.8%)
- ・ 親子で留学のための資金についての話し合い・・・「あり」(44.6%)
- ・ 話し合いの時期・・・「大学に入学してから」(27.7%)

Q.あなたは留学をする予定がありますか。

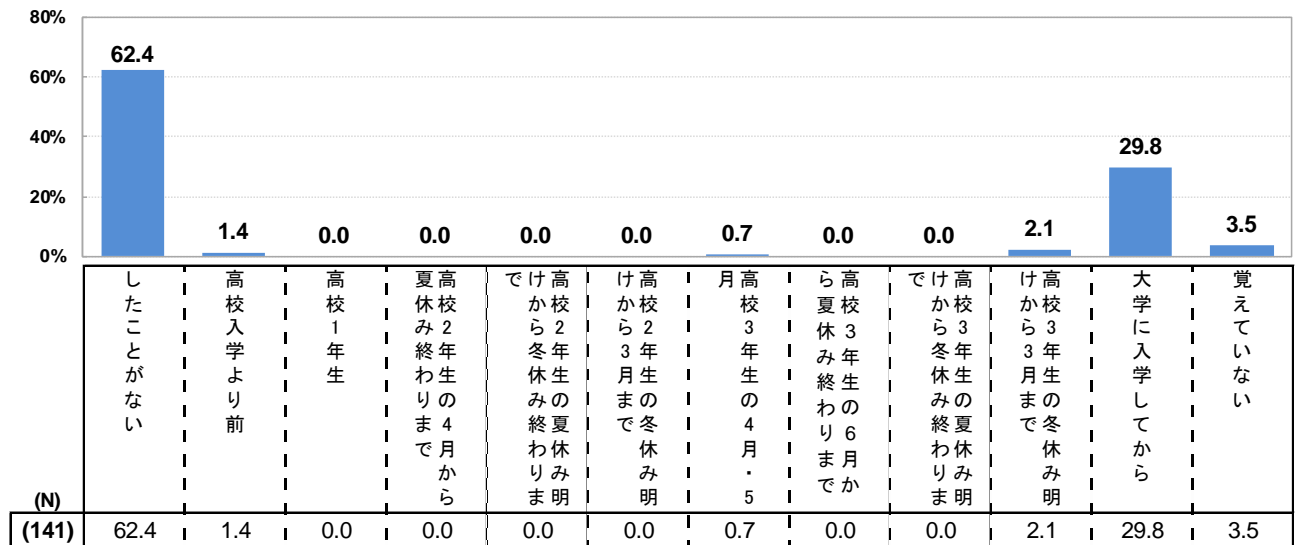


N=大学生全員、400名

(2) 親

- ・ 子どもの海外留学の予定・・・「予定はない」(64.8%)、
「興味はあるが、具体的には考えていない」(22.0%)、
「予定あり」(13.4%)
- ・ 海外留学について知りたい情報・・・「留学にかかる費用」(80.1%)、
「留学先の生活に関する情報」(70.9%)、
「留学先の教育事情」(62.4%)
- ・ 親子で留学のための資金についての話し合い・・・「あり」(37.6%)
- ・ 話し合いの時期・・・「大学に入学してから」(29.8%)
- ・ 子どもの海外留学のための資金・・・「預貯金から」(61.0%)、「特に用意していない」(31.2%)

Q.親子で、「留学」のための資金について、話し合いをしたことはありますか。



N=子供が留学予定なしと回答した以外の親、141名

4. 日本学生支援機構について

(1) 大学生 (N=大学生全員、400名)

- ・ 日本学生支援機構を知っている・・・71.3%
- ・ 知っている事業・・・「国内向け奨学金事業」(73.3%)、
「海外留学するための奨学金事業」(26.7%)
- ・ 日本学生支援機構のイメージ・・・「社会的にとって必要な団体」(75.5%)、
「意義のある事業を実施している」(70.3%)、
「さらに発展して欲しい」(68.5%)

(2) 親 (N=親全員、400名)

- ・ 日本学生支援機構を知っている・・・65.3%
- ・ 知っている事業・・・「国内向けの奨学金事業認知」(76.6%)、
「海外留学のための奨学金事業」(21.5%)
- ・ 日本学生支援機構のイメージ・・・「社会的にとって必要な団体」(69.5%)、
「意義のある事業を実施している」(67.5%)、
「さらに発展して欲しい」(67.0%)

5. 日本学生支援機構の奨学金事業について

(1) 大学生 (N=「国内の学校へ行くための奨学金事業」を実施していることを知っている)
回答した大学生、209名)

・ 知っている事業内容・・・

「経済的理由で修学に困難な学生本人に、奨学金の貸与を行っている」(90.0%)、
「無利息の第一種奨学金と、利息の付く第二種奨学金がある」(75.6%)、
「奨学金は貸与(貸付)であり、貸与終了後に返還しなければいけない」(72.2%)、
「奨学金が卒業後に返還するお金が、次の世代の奨学金として使われている」(46.9%)、
「奨学金の返還が困難になった場合に、返還期限の猶予を申請する制度がある」(40.2%)

・ 知りたい情報・・・「奨学金の種類」(74.6%)、「貸与月額」(64.8%)、「返還月額」(64.8%)、
「返還方法」(63.9%)、「申込方法」(61.5%)

(2) 親 (N=「国内の学校へ行くための奨学金事業」を実施していることを知っている)
回答した親、200名)

・ 知っている事業内容・・・

「経済的理由で修学に困難な学生本人に、奨学金の貸与を行っている」(90.0%)、
「無利息の第一種奨学金と、利息の付く第二種奨学金がある」(72.5%)、
「奨学金は貸与(貸付)であり、貸与終了後に返還しなければいけない」(71.5%)、
「奨学金が卒業後に返還するお金が、次の世代の奨学金として使われている」(43.0%)、
「奨学金の返還が困難になった場合に、返還期限の猶予を申請する制度がある」(41.5%)

・ 知りたい情報・・・「奨学金の種類」(67.0%)、「申込方法」(59.1%)、「貸与月額」(59.1%)、
「返還方法」(58.3%)

以上